

## 2023年度事業報告書

2023年4月1日から 2024年3月31日まで

特定非営利活動法人 ころ塾

### 1 事業の成果

#### (1) 特定非営利活動に係る事業

① 長期ビジョンプロジェクトによる社会変化や経済状態変化を踏まえた事業展開の検討を開始しました。しかし収入は減少傾向で厳しい経営状態となり、社会の大きな流れである職員の賃上げは実現できていません。検討を重ねた長期ビジョンの実現に向けて一丸となって取り組むことは、理念の達成であるとともに働きがいのある NPO 法人を作るという目標の実現でもあります。経営状態と労働条件の改善を進めます。

② 企業支援部門では従業員支援プログラム、ストレスチェック、セミナー、個別相談を通してこの病を生まない職場づくりに取り組みました。通年で支援した事業所は 24 社で、契約企業から受けた相談件数は 180 件でした。セミナーは 88 回実施し、受講者は述べ 2,912 人となりました。そのうちオンラインでの実施は 4 件で、コロナ禍での集合研修の自粛やオンライン活用推進から、集合対面実施のニーズが戻ってきています。内容は新入社員研修やセルフケア、管理職向けのラインケア、ハラスメント防止研修などのほか、コミュニケーションに関する要望が多くなっています。義務化から 8 年目になるストレスチェックは 64 事業所で実施、対象労働者は 13,611 人でした。実施を重ねることで見える事業所の経年変化を分析し、またコロナ禍からの変化や考えられる要因について考察を交わし、より良い職場環境づくりへの助言を行いました。ストレスチェックではオンライン実施のニーズが継続しており、より効率的な実施を提案しました。

利便性・効率化といった企業のニーズ増加や、遠隔地からの要望に応え、担当者からの相談・打合せの他、オンラインによる取り組みを企業に提案するなど ICT の活用も進めました。

③ 地域・個人支援事業では、新型コロナウイルス感染症が 5 類になり、こころの健康づくり教室や自殺防止対策事業など行政とのコラボ事業の実施数が前年を超える数となりました。それに伴い増加したマンパワーの負担に対して、Web 活用や外部人材との連携により負担軽減に努めました。例年受け入れている高校生の実習では、若者の自殺問題の深刻さを踏まえて、現状理解の促進と自分事として考える機会を提供しました。

④ 個人利用の復職・就職支援事業は、実施しませんでした。

⑤ 就労継続支援 B 型事業では、年度内の利用者数 24 人(年度末登録者 15 人)、その内新規利用者 2 名・終了者 9 名の実績がありました。利用終了後ダイレクトに一般就労等へ進んだ利用者はいませんが、3 名の利用者が終了後数か月内に関係機関の支援を受けつつ一般就労に進みました。その他の終了者についても関係機関の支援を受けつつ就労移行支援事業所など他障害福祉サービスの利用に進んだり、周辺の社会資源を利用し地域生活を送っています。

2023 年度の就労継続支援 B 型事業所においては、ステップアップに繋がるプログラムや、自己成長・自己肯定感向上を実現するプログラムの策定に力を入れました。その成果として、関係機関を招

いての学習会やイベント、他事業所の団体見学、利用者が主体的に会議参加し実行する形式での動画編集作業の開始、利用者間の交流の機会としてのサロンの実施等のプログラムが実現に至りました。

以上の2023年に開始したプログラムは2024年にも継続し、各利用者のニーズと思いに寄り添ったステップアップを支援していく予定です。

⑥ 相談支援事業では、34件の計画相談を受け、障がいのある方やご家族の不安や困りごとの解消、望む暮らしの実現に努めました。

以前から続く松山と周辺圏域における相談支援専門員の不足は2023年度においても深刻化を増しており、「障害福祉サービスを利用したいが相談員が見つからない」との相談が当事者や支援機関より毎月複数件届いている状況です。その全てを受理するのは困難な状況であり、対応困難なケースについても他機関への相談に繋げるなど調整を図りました。

また、複数の相談支援事業所や就労継続支援A型・B型事業所等の休止が見られる一方で、新たに参入する就労継続支援A型・B型事業所、グループホーム等も多く見られています。利用者が事業所に求めるニーズにも変化が見受けられています。そのため、幅広い情報収集・訪問看護など障害福祉サービス以外との連携・精度の高いアセスメントを意識し対応を行ないました。

## (2) 非収益事業に係る事業

今年度は実施しませんでした。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

#### ①収益事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事の人	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
教育研修・情報提供事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>うつ病に関する情報と相談窓口情報の提供</li> <li>うつ病予防対策に関するセミナーの実施</li> <li>自殺防止対策事業の実施</li> </ul>	通年	当施設・県内	4名	市民一般と行政職員、福祉施設職員等 1,724人 (目標達成率 172%)	2,318千円 (予算比 121.1%)
職場の環境作り支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>従業員支援プログラムの提供</li> <li>うつ病予防対策に関するセミナーの実施</li> <li>ストレスチェックの実施</li> </ul>	通年	当施設・各事業所	6名	労働者 16,523人 (目標達成率 91.7%)	17,904千円 (予算比 81.3%)
予防支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>うつ病予防・再発予防に係るセミナー、交流会、相談、カウンセリング</li> </ul>	通年	当施設・公共施設	3人	一般市民と労働者 105人 (目標達成 105%)	950千円 (予算比 72.2%)

職場復帰支援事業	・うつ病の回復と職場への復帰を支援するプログラムの提供	通年	当施設	0人	休職中・求職中 労働者 0人 (目標達成率 1%)	0千円 (予算比 0%)
就職支援事業	・離職中の方々に向けたうつ病等の回復から就職を支援するプログラムの提供	通年	当施設			
就労継続支援事業	・慢性化したうつ病患者に対し、うつ病の回復と就職を支援するプログラムの提供	通年	当施設・各事業所	6人	障がいを持つ 就労希望者 24人 (目標達成率 96.0%)	12,830千円 (予算比 102.6%)
相談支援事業	・障がい者に対して、必要な福祉サービス等が適切に提供されるよう援助	通年	当施設・その他の各事業所・利用者宅	1人	障がい者およびその 家族 34人 (目標達成率 226%)	4,354千円 (予算比 116.1%)

②非収益事業

内部的な体制が整わず、本年度は収益事業の予防支援事業として実施しました。

(2) その他の事業      なし